



特定非営利活動法人 JAFSA (国際教育交流協議会)

Japan Network for International Education



2023 年度報告書

凡 例

◆団体名、法人格(財団法人、株式会社など)の記載

- ・ JAFSA 会員一覧(JAFSA HP 掲載)の表記と統一とする

◆団体の列記方法

- ・ 原則「会員種別ごと(※)団体名 50 音順」
※『団体正会員(大学)』『団体正会員(教育関連機関)』『団体賛助会員(カテゴリー別)』の順

◆個人名の記載

- ・ 原則「人名(所属機関 所属部署 肩書き)」
- ・ 所属機関、所属部署、肩書きは事業実施当時のものを記載
- ・ JAFSA 役員は「人名(所属機関 JAFSA 役職)」
- ・ 講師／講演者／参加者等すべて敬称略

目 次

1. グローバルネットワーキングに関する事業	3
【海外諸団体との交流および支援】	
(1) 海外諸団体との連携・アウトリーチ	
1) NAFSA	
2) EAIE	
3) APAIE	
4) その他	
2. 国際教育交流の人材育成に関する事業	11
2-1. オンライン研修プログラム	
2-2. ウェビナー	
2-3. 対面イベント	
2-4. 協力(広報)/後援プログラム、他	
3. アウトリーチ・広報に関する事業	18
3-1. 国際教育交流に関するアウトリーチ	
3-2. 広報に関する事業	
3-3. その他	

JAFSAは、 「グローバルネットワーキング」・「人材育成」・「アウトリーチ」の 3本の柱を中心に活動しています。

1. グローバルネットワーキングに関する事業

JAFSAは、世界各国の国際教育交流団体や国際機関との連携をはかり、これら団体が主催する年次大会へのブース出展・セッション発表者派遣等を実施しています。この分野の事業はJAFSA事業の中核に位置しており、JAFSA会員の方々に、多種多様なネットワーク拡大の場を提供しました。

【海外諸団体との交流および支援】

(1) 海外諸団体との連携・アウトリーチ

NAFSA(米国)、EAIE(欧州)、APAIE(アジア太平洋)に最重点をおき、ネットワーク形成の促進を目指しました。各海外諸団体の年次大会を通じ「STUDY in JAPAN」を総合的にプロモートし、日本の大学のプレゼンスを高めるとともに、海外におけるJAFSAの位置づけも強化することを目的としています。

1) NAFSA

- NAFSA(National Association for International Educators) は米国で1948年に設立され、2023年で75年目になる世界最大規模を誇る米国の国際教育交流団体。
- 毎年5月下旬から6月初旬に米国(10年に一度程度カナダ)のいずれかの都市で開催されるNAFSA年次大会は、国際教育交流に携わる関係者が集まる国際交流フェアの規模としては世界最大規模で、参加者は例年約100か国より1万名前後。年次大会の内容は、ワークショップ・セッション・ブース出展と大きく3つのジャンルに分かれています。
- JAFSAは以前からセッションへの応募や個々の大学のブース出展を応援してきましたが、2008年から「STUDY in JAPAN」として一部ブース出展の取りまとめを開始しました。当初は6ブース程度と小さい単位でしたが、毎年拡大を続け、2013年度より独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)と統合して「STUDY in JAPAN」として取りまとめるに至りました。
- 「STUDY in JAPAN」は、NAFSA最上位会員「Global Adviser」として例年のNAFSA年次大会で日本高等教育の存在を大きくアピールしています。

NAFSA2023 米国・ワシントン D.C.大会と「STUDY in JAPAN」

『NAFSA 年次大会』は、2022 年デンバー大会に続き、対面にて開催。首都開催というだけでなく、「NAFSA 設立 75 周年記念大会」でもあり、参加者 8,500 名以上と、コロナ禍前の勢いを取り戻す賑わいをみせていました。



会場フロント (NAFSA2023)



会場ロビー (NAFSA2023)



展示会場風景 (NAFSA2023)

- ・開催日:2023 年 5 月 30 日(火)~6 月 2 日(金)(米国現地時間)
- ・開催地:米国ワシントン D.C. Walter E. Washington Convention Center
- ・参加者:105 か国から 8,500 名以上
- ・出展数:49 か国から 323 ブース

● STUDY in JAPAN (日本合同ブース)

JAFSA は例年と同じく、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO), SGU (Top Global University Project)と共同で、「STUDY in JAPAN」として「日本合同ブース」を取りまとめて出展しました。

- ◇ 日本ブースは展示会場内最大規模 (26 区画、2 列)
- ◇ 出展団体は「35 団体」(34 大学+1 機関)
- ◇ 出入口から見えやすい場所で、NAFSA Pavilion の近くと、動線が良く目立つ位置で展開



STUDY in JAPAN (NAFSA2023)



日本ブースでの打合せ・対応の様子 (NAFSA2023)



日本ブース内の打合せの様子(NAFSA2023)

NAFSA2023「STUDY in JAPAN」(日本合同ブース)出展団体

全26ブース、34大学+1機関 <団体名50音順>

フルブース (エンド)	7大学	神奈川大学、関西学院大学、近畿大学、上智大学、中央大学、武蔵大学、 立命館アジア太平洋大学 + JASSO (Informationとして)
フルブース (通路)	7大学	慶應義塾大学、国際教養大学、東北大学、同志社大学、明治大学、立教大学、 立命館大学
シェアブース	20大学 1機関	青山学院大学、(広島県立)鞆啓大学、桜美林大学、関西大学、 京都外国語大学、國學院大學、国際基督教大学、西南学院大学、創価大学、 津田塾大学、帝京大学、東海大学、東京大学、東京都立大学、 長崎外国語大学、名古屋外国語大学、南山大学、法政大学、北海道大学、 明治学院大学、森興産株式会社(WA. SA. Bi.) [JAFSAダイヤモンド賛助会員] +JAFSA (運営機関として)

日本ブースの規模としては、コロナ禍前と比較すると及ばないものの、復活傾向となりました。一方で長引く円安や米国での物価高、航空運賃・宿泊費の値上がりといった海外出張にはコロナ禍以外のマイナス要因もありました。そのような中、NAFSA 参加に意義を見出す大学・機関が集結。結果として「日本ブース」は会場内で、コロナ前と変わらず最大規模を誇り、華やかな桜の装飾と共に、多くの来場者を惹き付けました。

● JAFSAセッション

「JAFSAセッション」とは、2011年より毎年NAFSAからJAFSAに対して特別枠をオファーされて実施している、日本の高等教育に関する発表。文部科学省にも発表を依頼しており、各大学の個別事例とともに日本の実情や今後の目標などをプレゼンテーションする機会となっています。今大会では、コロナ後に留学生のリアルな動きが戻ってくることを見据えて、日本留学を全面的にアピールするセッションを行いました。当日は約70名の参加があり、質疑応答も活発に行われ、活気のあるセッションとなりました。

・実施日:2023年6月1日(木)9:30-10:20(米国現地時間)

・講演名:International Education in Japan:

Access Through Unique Value and High-Quality Experience

・参加者:約70名

・登壇者

◆森下 哲朗 (上智大学[JAFSA会長校] グローバル化推進担当副学長/法学部 教授)

◆武田 久仁子 (文部科学省 高等教育局参事官(国際担当)付専門官)

◆セリック・メイルマノフ(立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部教授)



JAFSAセッション風景 (NAFSA2023)

● 情報交換会

JAFSA賛助会員である森興産株式会社(WA. SA. Bi.)と株式会社早稲田大学アカデミックソリューションと共催にて日本からの出展大学、参加者を中心に「情報交換会(懇親会)」を開催した。(71名参加、有料)。

2) EAIE

- EAIEはNAFSAについて世界で2番目に大きい国際教育交流大会。世界各国より6,000名以上が参加するヨーロッパの国際教育交流分野最大のコンベンションです。JAFSAのグローバルネットワーキング事業としてNAFSAと同様力を入れていますが、JAFSA会員大学の中でもEAIEの存在が定着しています。
- EAIEの年次大会は、毎年1回9月中旬に欧州各地の持ち回りでほぼ一週間の会期で開催されます。特別講演、セッション、ワークショップ、ネットワーキングのためのさまざまなイベントが催されるほか、展示ホールでのブース出展が行われ、世界中の教育機関から多くの参加者が集まります。

EAIE2023オランダ・ロッテルダム大会と「STUDY in JAPAN」

『EAIE年次大会』においては、JAFSAは独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)と協力して会員大学17校を取りまとめて「STUDY in JAPAN(日本合同ブース)」を出展しました。

- ・開催日:2023年9月26日(火)～9月29日(金)(オランダ現地時間)
- ・開催地:オランダ・ロッテルダム Rotterdam Ahoy
- ・参加国:100か国以上
- ・参加者:6,700名以上(過去最高)
- ・出展数:241ブース

2022年バルセロナ大会はコロナ禍の影響も残り、国・地域を代表するパビリオンとしては、アジア圏では中国・香港ブースがなく、中南米も小規模であったが、2023ロッテルダム大会は中国・香港・台湾も大きくブースを構えて復活、中南米もコロンビア・ペルー・チリ・ブラジルなどが復活、また、アフリカ勢もエジプト・モロッコ・南アフリカがブース出展しており、ブース数は241ブースで、2019大会の243(過去最高)に僅かに及ばなかったもののコロナ禍前と同レベルまで復活した大会であることが象徴される大会となった。



日本合同ブースの様子



会場エントランスの様子



展示会場の風景

● 「STUDY in JAPAN」(日本合同ブース)

EAIE の展示会場は地域別にブース配置が行われる傾向があるが、日本はアジア圏の中でも人通りが多い場所に配置され、会期中は途切れることなく参加者が日本ブースに会場し、ブース内は終日多くの打合せで賑わっていた。

EAIE2023「STUDY in JAPAN」(日本合同ブース)出展団体

全 15 ブース、17 大学 <団体名 50 音順>

フルブース	8 大学	神奈川大学、関西学院大学、上智大学、東北大学、名古屋大学、立教大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学 +JASSO (Information として) +JAFSA (運営機関として)
シェアブース	9 大学	大阪学院大学、関西大学、国際教養大学、帝京大学、東京都立大学、名古屋外国語大学、南山大学、北海道大学、横浜市立大学

● 日本合同ブースの「資料参加」

予算や人員体制等から、出展が難しい団体でもEAIEの有効活用ができるよう2023大会では「資料でのEAIE大会参加」の場を設けた。これは、日本合同ブースの空きスペースに、参加希望校の広報資料を有料にて設置するというもの。またInformationブースで来場者に配布する「Find Your Partner」(出展大学の紹介冊子)と同様の資料も作成、資料参加大学の情報を掲載した。設置資料を契機に、当該大学とのパートナーシップに興味を持った海外大学へ、連絡先を知らせることなどで、後日のオンライン打合せなどに発展させていくことが狙い。大会期間中、資料展示スペースでは、JAFSAスタッフが適宜フォローに入り、後日の打合せにつなげられるようアシストした。



資料参加の様子

資料参加:3 大学 <団体名 50 音順>

東京大学、東京海洋大学、福岡女子大学

3) APAIE

- APAIE(Asia-Pacific Association for International Education エーパイ)は、アジア太平洋地域の国際教育交流団体です。毎年3月頃開催される年次大会は、NAFSA(北米)、EAIE(欧州)に比べ歴史が新しく規模も小さいものです。当初は東アジア、東南アジア中心の地域的な団体色が濃かったものの、近年は大会参加者・参加機関ともに増え、他地域、特に欧米からの参加も増大しました。
- JAFSAは、2014年3月ソウル大会より、会員大学を取りまとめて「STUDY in JAPAN」ブースとして出展しています。

APAIE2024 オーストラリア・パース大会と「STUDY in JAPAN」

『APAIE年次大会』は2023年タイ・バンコク大会に続き、対面のみで開催。出展団体数は、18団体。

- ・開催日:2024年3月4日(月)～ 8日(金)(オーストラリア現地時間)
- ・開催地:オーストラリア・パース Perth Convention and Exhibition Centre (PCEC)
- ・参加国:65か国
- ・参加者:2,082名
- ・出展数:282ブース

日本合同ブースは展示会場の正面入口すぐの好立地にブースを構えた為、非常に目立っていた。会場内でのNetworking Lunch/Coffee Breakなども提供され、各国のレセプションも展示時間中あるいは、展示終了後、活発に行われていた。また、ホスト大学主催によるBreakfast Sessionも開催されるなど新しい試みもあった。



出展団体案内図



JAFSA会長校 上智大学森下先生と在パース日本国総領事内藤氏



ポスターセッションの様子

● STUDY in JAPAN (日本合同ブース)

JAFSAは、「STUDY in JAPAN」として「日本合同ブース」を取りまとめるとともに、Informationブースとしても出展し、日本の大学のプロモーションにつとめた。また、日本合同ブース後援という立場で在パース日本国総領事館の総領事が大会会場を視察するなど、海外参加者に対して日本のプレゼンスを十分に示す事ができた。

APAIE2024 パース大会「STUDY in JAPAN」(日本合同ブース)出展団体

全 14 ブース、16 大学+2 機関<団体名 50 音順>

フルブース	7 大学 1 機関	関西大学、関西学院大学、上智大学、東北大学、 名古屋大学、立教大学、立命館大学、名校教育日本語学校 +JAFSA (Information+運営 機関として)
シェアブース	9 大学 1 機関	愛知淑徳大学、叡啓大学、岡山大学、関西外国語大学、國學院大學、帝京大学、 南山大学、法政大学、明治学院大学、 森興産株式会社 [JAFSA ダイヤモンド賛助会員]

● 日本合同ブースの「資料参加」

EAIE大会同様、日本合同ブースの空きスペースに、資料参加希望校の広報資料を有料にて設置。Informationブースで来場者に配布する「Find Your Partner」(出展大学の紹介冊子)内に資料参加大学の情報を掲載した。設置資料を契機に、当該大学とのパートナーシップに興味を持った海外大学へ、連絡先を知らせることなどで、後日のオンライン打合せなどに発展させていくことが狙いで、実際に協定を結びたいという前向きな連絡もあり資料参加の手ごたえがあった。

資料参加:2大学 <団体名50音順>

名古屋工業大学、福岡女子大学

● 「2023 年度 JAFSA 海外教育フェア参加奨学金」受給者募集(団体正会員大学限定)

JAFSA では、国際交流部署の若手職員の海外教育フェア等への参加を、国際関連業務に関する「スタッフデベロップメント(SD)」と位置づけ、「参加奨励金」を支給している。受給者には「国際交流部署の若手職員として海外教育フェア等に参加することで、世界の国際教育交流の現場を体験し、所属大学で今後の業務にいかす、国際交流の課題を見つけること」が期待される。団体正会員大学対象とし、「10 万円/1 名 最大3名 (1大学1名まで)」

2023 年度の奨励金採用者 2名(大学名 50 音順)

◆岡田 真也 駒澤大学 国際センター事務室 係員

◆村越 弘規 獨協大学 国際交流センター 主任

● 情報交換会

JAFSA 賛助会員である森興産株式会社(WA. SA. Bi.)と株式会社早稲田大学アカデミックソリューションと共催にて日本からの出展大学、参加者を中心に「情報交換会(懇親会)」を開催し、日本の大学・在日公館・在パース総領事館など約 100 名参加があり、フラットな場での情報交換が活発に行われた(参加任意・有料)



情報交換会の様子

4) その他

AIEA

- AIEA(Association of International Education Administrators エイ・アイ・イー・エイ)は、1982 年創立の米国の国際教育交流団体。NAFSA, EAIE, APAIE とはカラーが異なり、高等教育機関の経営や教育方針に関する意思決定者が多くメンバーになっていることが特徴。
- 年次大会の参加者は1,000 名程度で、米国からの参加者が多い。毎年ほぼ 2 月に米国ワシントン D.C. とサンフランシスコ(3 年に 1 度位)で行われ、セッション中心で形成されている。
- 2019 年より JAFSA は Institution Member として会員登録をしている。会員向けに送られてくるメルマガによる情報収集の他、後述の「NIEA」会合等で AIEA メンバーとの交流を行っている。2024 年次大会は、2024 年 2 月 18 日～ 21 日に米国ワシントン D.C.で開催。

CAEI

CAEI(Conference of the Americas on International Education)は、北米・中米・南米の国際ネットワーク／大学コンソーシアム。大会は 2 年に一度、北中南米のいずれかの都市で主催され、IOHE (Inter-American Organization for Higher Education)が CAEI 大会の運営を行っている。

- 2021 年の第 7 回年次大会は、COVID-19 の影響でオンラインとのハイブリッド大会となり、JAFSA として初めてバーチャル出展した。また、中南米諸国との連携を通じた日本の大学の取り組みとプロジェクト成果を紹介するセッションも実施した。第 8 回目の年次大会は、2023 年 11 月 6 日(月)～ 8 日(水)にラスベガスで開催。

NIEA

NIEA(Network of International Education Associations)は高等教育の国際化を進める非営利・非政府団体で、JAFSA は、AIEA(NIEA の創設メンバー)、NAFSA、EAIE、APAIE とともに、NIEA のメンバーとなっている。

2. 国際教育交流の人材育成に関する事業

2023 年度も「オンライン」での研修・セミナーを実施。「オンライン」研修は、全国から参加しやすいというメリットに加え、運営面においても負担が減っている。一方、オンライン実施においても「参加者同士の交流」「ネットワーキング」が活発に行えるよう留意した。プログラムは定番（初任者研修、実践英語研修）を踏襲しつつ、時事に応じた研修（DE&I 研修）も昨年度に導入し、引き続き実施した。その他、会員大学に様々なトピックについて発表・共有いただく「ウェビナー」、ネットワーキング形成を目的とした対面式「ワークショップ」を実施した。

2-1. オンライン研修プログラム

(1)「初任者研修」～基礎から学ぶ国際教育交流～

留学生受け入れ・送り出しを含む、国際関係業務の初任者向けで、理論と実践を結びつけ、基礎力強化をめざす。事前課題やグループワークを多く取り入れた、参加型の研修。全国から参加する会員同士のネットワーク構築の場ともなっています。主な対象は、留学生受け入れ・送り出しを含む、国際教育交流分野の担当になり 3 年以内の教職員。JAFSA の定番研修で、年間 5 回実施。半日コース X 連続 2 日で 1 セット。定員 20 名。



研修の様子①



研修の様子②

・講 師: (講義順)

◆谷口 紀仁 (名古屋大学 大学院教育発達科学研究科 講師)

◆葉佐 賢太郎 (関西学院大学 国際連携機構事務局 職員)

◆岡本 大夢 (叡啓大学 教学課 主任)

◆新見 有紀子 (東北大学 高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 講師)

◆小嶋 緑 (東北大学 高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 特任助教)

実施回	実施日	参加者
第 1 回	5 月 11 日(木)・12 日(金)	20 名/16 団体会員(16 大学)
第 2 回	6 月 29 日(木)・30 日(金)	20 名/16 団体会員(16 大学)
第 3 回	7 月 27 日(木)・28 日(金)	20 名/18 団体会員(17 大学)
第 4 回	10 月 26 日(木)・27 日(金)	20 名/19 団体会員(19 大学)
第 5 回	12 月 7 日(木)・ 8 日(金)	23 名/21 団体会員(20 大学)

(2)「実践英語研修」～Practical English for International Office Staff～

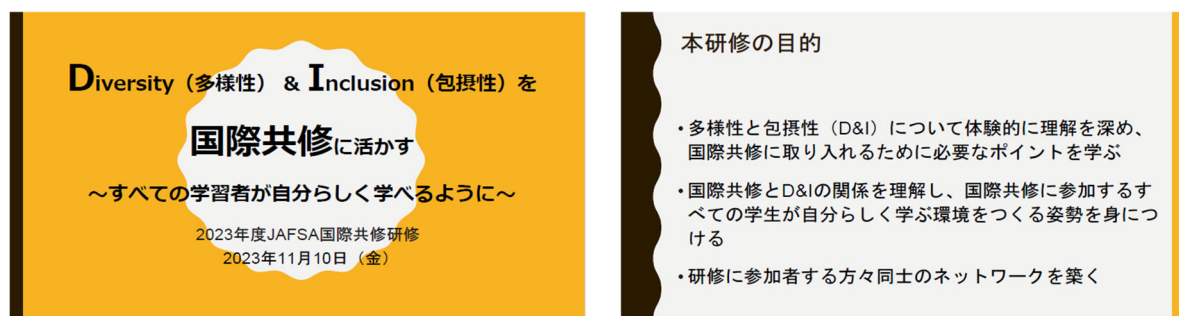
ブリティッシュ・カウンシルが JAFSA と協議の上で企画する、国際業務担当者向けの英語研修。英語を直接使用したグループワーク中心で、国際業務に直結した実践的な研修内容となっています。

初任者研修同様、定番研修で、年間 6 回実施。全回、英語教授法の資格を持ったブリティッシュ・カウンシルのネイティブ講師が担当。終日コース x 1 日で 1 セット。定員 12 名。

テーマ	レベル目安	実施日	参加者
Introductory Business English 「ビジネス英語-初心者向け」	[準中級～中級]	5月19日(金)	12名 / 10 団体会員 (9 大学)
Supporting Students Face-to-Face, by E-mail and on the Telephone 「学生へのサポート(対面・メール・電話)」	[中級～上級]	7月13日(木)	10名 / 9 団体会員 (8 大学)
Presentations: Your University 「大学紹介とプレゼンテーション」	[中級～上級]	10月19日(木)	11名 / 11 団体会員 (11 大学)
Pronunciation and Global Englishes 「発音と Global Englishes」	[中級上～上級]	11月16日(木)	10名 / 8 団体会員 (8 大学)
Writing for Public Access Communication 「大学広報文の書き方」	[中級～上級]	11月22日(水)	8名 / 8 団体会員 (8 大学)
Business Speaking「ビジネススピーキング大学紹介、 ネゴシエーション・クレーム対応」	[中級～上級]	12月 1日(金)	13名 / 11 団体会員 (11 大学)

(3) 「国際共修研修 Diversity(多様性)& Inclusion(包摂性)を国際共修に活かす」

企画・協力: 講師陣 (講師名箇所を参照)



研修の様子

「国際共修」とは、多様な文化的・言語的背景をもつ学生同士の学び合いの場を指すとともに、そうした学習環境をファシリテーションによって作り上げる教育的仕掛けのことも指します。2023 年度の研修では「多様性、公平性、包摂(Diversity, Equity & Inclusion; DEI)」の概念も取り入れ、その中でも「多様性と包摂性(D&I)」に注目し、より国際共修というテーマを深める研修となった(半日 定員 20 名)。

・実施日: 2023 年 11 月 10 日(金)9:00-12:30 「研修」 + オプション(参加任意)「ランチ交流会」

・講 師:

◆末松 和子(東北大学 副理事(国際交流担当)高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 副センター長・教授)

◆平井 達也(立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター 教授)

◆米澤 由香子(東北大学 高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 准教授)

◆秋庭 裕子(東京学芸大学 大学教育研究基盤センター機構 国際交流/留学生センター 准教授)

・参加者: 17 名 / 14 団体会員 (14 大学)、1 JAFSA フレンズ

(4) DE&I 研修「国際交流における障がい学生支援」

～改正法の施行を見据えつつ、障がい種に応じた合理的配慮を考える～

2022 年度より開始。2023 年度では「大学の国際交流における障がい支援」というテーマをさらに発展させ、身体障がい／発達・精神障がいの障がい種ごとの支援や事例の特徴について、深く学ぶ研修を実施しました。定員 20 名。

・講 師：(大学名順)

◆望月 直人 (大阪大学 キャンパスライフ健康・相談支援センター相談支援部門 准教授)

◆池谷 航介 (岡山大学 教育推進機構 障がい学生支援室 准教授)

実施回	テーマ	実施日時	参加者
第 1 回	身体障がい編	10 月 16 日(月)9:00-12:30	10 名 /9 団体会員(9 大学)
第 2 回	発達・精神障がい編	2 月 16 日(金)9:00-12:30	24 名 /16 団体会員(16 大学)

2-2. ウェビナー(海外フェア振り返りウェビナー、特別ウェビナー)

海外フェア参加後に出展団体から大会で得た効果・反省点等を発表いただく「海外フェア振り返りウェビナー」と、会員のニーズに基づいたテーマを取り上げた「特別ウェビナー」を計 8 回実施しました。いずれのウェビナーも短時間で構成されており、毎回多くの会員が視聴し、高評価を得ました。

「海外フェア振り返りウェビナー」

(1) 「APAIE 2023 タイ・バンコク大会振り返り」

APAIE2023 大会の日本合同ブース「STUDY in JAPAN」として出展した 17 大学 1 機関の中から、3 大学に出展前の準備・戦略や出展後の反省、実績等を発表いただいた。

実 施 日	2023 年 5 月 23 日(火) 11:00-11:50
参 加 者	45 名(28 大学、3 教育関連機関、1 賛助会員)
登 壇 者	茂木 奈津子(國學院大学 国際交流事務部 次長) 星野 晶成(名古屋大学 グローバル・エンゲージメントセンター 准教授) 藤枝 聡(立教大学 国際化推進機構 国際センター、日本語教育センター 担当課長兼務)

(2) 「NAFSA 2023 米国・ワシントン D.C.大会振り返り」

NAFSA2023 大会の日本合同ブース「STUDY in JAPAN」として出展した 34 大学 1 機関の中から、3 大学に出展前の準備・戦略や出展後の反省、実績等を発表いただいた。

実 施 日	2023 年 8 月 4 日(火) 11:00-11:50
参 加 者	50 名(27 大学、4 教育関連機関、3 賛助会員)
登 壇 者	段 揺(京都外国語大学 国際部 主事) 伊藤 大将(東京都立大学 国際センター 准教授) 仲谷 ちはる(明治大学 国際連携機構 特任講師)

「(3)「EAIE 2023 オランダ・ロッテルダム大会振り返り」

EAIE2023 大会の日本合同ブース「STUDY in JAPAN」として出展した 17 大学 2 機関の中から、3 大学に大会前の準備・戦略や出展後の効果、実績等を発表いただいた。

実施日	2023 年 12 月 5 日(火) 13:00-13:50
参加者	55 名(30 大学、3 教育関連機関、3 賛助会員、1JAFSA フレンズ)
登壇者	辰野 敦朗(神奈川大学 国際センター Study Abroad Coordinator) 吉田 純子(北海道大学 国際連携機構 学術主任専門職) 佐藤 慎(横浜市立大学 グローバル推進室 国際交流担当)

「特別ウェビナー」

「(1)「北海道大学における障害学生支援(受入れ・派遣)の現状と課題」

21 年度から取り上げている「Diversity, Equity & Inclusion (DE&I)シリーズ」として、北海道大学 学生相談総合センター アクセシビリティ支援室より大学内での取り組みを中心にお話しいただいた。

実施日	2023 年 6 月 23 日(金) 10:30-11:10
参加者	90 名(48 大学、1 教育関連機関、2 賛助会員、5JAFSA フレンズ)
登壇者	榊原 佐和子 (北海道大学 学生相談総合センター アクセシビリティ支援室 室長・専任相談員)

「(2)「デザイン思考を活用した留学プログラムパンフレット作成について」

NAFSA2023 大会でのポスターセッションで「Best Poster」を受賞した発表内容を、会員向けにまとめたもの。学生を惹きつける効果的な「留学プログラム」パンフレット作りの方法や考え方を、調査結果を踏まえてお話しいただいた。

実施日	2023 年 7 月 28 日(金) 14:00-14:35
参加者	118 名(58 大学、7 教育関連機関、1 賛助会員、2JAFSA フレンズ)
登壇者	シャー・勝間田・マハディ (筑波大学 国際局国際室 国際戦略インターナショナル・アドミニストレーター) ジャクタ・ブルノ (筑波大学 人文社会系 グローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC))

「(3)「留学生送り出し・受け入れプログラム調査 結果報告会」

JAFSA 監事校の近畿大学が、コロナ禍を経て「留学生送り出し・受け入れプログラム」がどのように変化・多様化しているか、会員学校を対象に調査実施。その調査結果や研究に基づいた分析・解説を発表いただいた。

実施日	2023 年 9 月 11 日(月) 13:00-13:40
参加者	68 名(57 大学、4 教育関連機関、3 賛助会員、4JAFSA フレンズ)
登壇者	大村 吉弘 (JAFSA 監事 / 近畿大学 国際学部教授・グローバルエデュケーションセンター 副センター長)

(4) 「コロナ後における日本語学校の現状と課題[1]」

～日本語学校からみた中国の教育政策の変革と留学生の現状について～

JAFSA 正会員である名校教育日本語学校、行知学園日本語学校より、近年の中国の経済発展を受けた留学生の動向、コロナ後の中国教育界の動向等について発表いただいた。

実施日	2023 年 10 月 11 日(水) 11:00-11:40
参加者	119 名(61 大学、8 教育関連機関、8 賛助会員、4JAFSA フレンズ)
登壇者	陳 菱(チン・キュウ)(名校教育日本語学校 理事) 楊 舸(ヨウ・ガ)(行知学園日本語学校 代表取締役)

(5) 「DE&I (Diversity, Equity & Inclusion) シリーズ」

～国際交流における障がい学生支援:発達障害について-入門編-～

第 2 回 DEI 研修の入門編として実施。「高等教育機関での障がい支援の取り組みに関する全体的なことや基本的な概念」について、そして海外留学生に増えている「発達障害の基本的理解」について、研修と同じ講師陣よりお話しいただいた。

実施日	2023 年 12 月 13 日(水) 10:30-11:30
参加者	122 名 (54 大学、5 教育関連機関、1 賛助会員、2 JAFSA フレンズ)
登壇者	望月 直人 (大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター 相談支援部門 准教授) 池谷 航介 (岡山大学 教育推進機構 障がい学生支援室 准教授)

2-3. 対面イベント(ネットワーキングミーティング)

テーマとして、コロナ後の新関係構築に向けてと題し、次世代に向けた交流・交友関係を新たに構築するため、また、今後国際教育交流の担当者が問われるスキルやマインドを共有することを目的にネットワーキングミーティングを実施しました。

協力	藤女子大学、西南学院大学
実施日	2023 年 11 月 15 日(水) 14:00-17:30(札幌) 2023 年 11 月 30 日(木) 14:00-17:30(福岡)
対象者	JAFSA 会員
参加者	札幌 13 名(9 大学、1 教育関連機関、1 賛助会員) 福岡 18 名(8 大学、3 教育関連機関)
講師	近藤 祐一(米国インカーネイトワード大学 国際アドミッションリエゾン)



講義の様子



参加者による発表の様子

2-4. 協力(広報)/後援プログラム、他

団体会員(正会員・賛助会員)による各種フェア・プロジェクトにおいて、企画や広報等で協力。内容や関わり方の程度により、協力・後援等の形で対応しました。

(1) 在日海外公館コラボセミナー

■ APAIE2024 Pre-Departure Session(出発前説明会)ウェビナー

協 力	西オーストラリア州政府 駐日代表部
実 施 日	2024 年 2 月 8 日(木) 14:00-15:00
参 加 者	60 名 (33 大学、2 教育関連機関、3 賛助会員)
登 壇 者	オーストラリア大使館 商務部 商務官(教育) 冨永 さおり 西オーストラリア州政府 駐日代表部 国際教育分野 事業開発マネジャー マイラ 絵美子

(2) JAFSA 協力(広報)プログラム

① 留学生送り出し・受け入れプログラム調査

主 催	近畿大学 グローバルエデュケーションセンター (監修 副センター長 大村 吉弘[JAFSA 監事])
対 象	JAFSA 会員大学・高専・専門学校
実 施 日	2023 年 7 月 10 日(月)～ 7 月 28 日(金)

② 2023 日本留学・就職・地域観光フェア in Taipei

主 催	一般社団法人 国際人流振興協会[団体正会員]
共 催	一般社団法人 外国人留学生高等教育協会、留学生教育学会
実 施 日	2023 年 7 月 29 日(土)～ 7 月 30 日(日)

③ 留学生教育研究会―日本語教育機関と高等教育機関との接続環境の変化と対応

主 催	一般社団法人 外国人留学生高等教育協会
共 催	公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会 一般社団法人 国際人流振興協会[団体正会員]、留学生教育学会
実 施 日	2023 年 11 月 16 日(木)

(3) JAFSA 後援プログラム

① BJT ビジネス日本語能力テスト

主 催	公益財団法人 日本漢字能力検定協会[団体正会員]
実 施 日	2023 年度(通年)

② 欧州留学フェア 2023

主 催	駐日欧州連合代表部
共 催	ドイツ学術交流会(DAAD)[団体正会員]、他
開 催 日	2023 年 6 月 24 日(土)～ 25 日(日)

③ 2023 年国際教育夏季研究大会(SIIEJ2023)

主 催	一般社団法人 国際教育研究コンソーシアム (RECSIE)
開 催 日	2023 年 7 月 20 日(木)～ 21 日(金)

④ 第九回 日中教育交流会

主 催	特定非営利活動法人 日中留学推進機構 [団体正会員]
開 催 日	2023 年 11 月 14 日(火)

⑤ JCSOS 第 76 回 定例セミナー「海外プログラムにおける性(的)被害・メンタルケースへの対応」

主 催	特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会(JCSOS)[団体正会員]
開 催 日	2023 年 11 月 14 日(火)

⑥ JCSOS 北海道地区セミナー

主 催	特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会(JCSOS)[団体正会員]
共 催	北海道大学 [団体正会員]
実 施 日	2023 年 11 月 22 日(水)

⑦ JCSOS 特別セミナー「イスラエルと周辺国武装勢力との衝突が海外派遣に及ぼす影響」

主 催	特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会(JCSOS)[団体正会員]
開 催 日	2023 年 12 月 12 日(火)

⑧ 留学生教育研究会「人口減少社会と外国人人材・高等教育の役割」

主 催	一般社団法人外国人留学生高等教育協会
共 催	一般社団法人国際人流振興協会[団体正会員]、留学生教育学会
開 催 日	2024 年 1 月 27 日(土)

(4) その他

● 「留学生担当教職員研修会」への講師派遣(紹介)

主 催	留学生の違法活動防止のための連絡協議会
内 容	「留学生のためのメンタルヘルスケア」
講 師	一橋大学 保健センター 障害学生支援室 特任准教授 柘植 道子
開 催 日	2024 年 3 月 12 日(火)

3. アウトリーチ・広報に関する事業

3-1. 国際教育交流に関する研究・調査

(1) JAFSA における事業開発の活発化、および提言

2023 年 4 月に事業委員会発足。

事務局とともに JAFSA 事業の発展のための企画・開発を行い、併せて外部団体等と連携を図り、JAFSA 事務局の一層の活性化と JAFSA 活動の充実を目指す。JAFSA 理事(JCSOS 理事長)である池野 健一氏を中心に国内諸団体・関係省庁等との連携を持ち、適宜発信を行った。

■23 年 12 月

「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ(J-MIRAI)(第二次提言)」への提言提出

新資本主義研究会 大学部会、特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会 JCSOS
一般社団法人日本旅行業協会 JATA と連盟

■23 年 6 月

「JAFSA 事業委員会から内閣官房への申し入れについて」

「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ」(第 2 次提言)の発表を受けて 6 月 28 日に内閣官房担当官と、第1回意見交換会を実施

JAFSA 事業委員会 池野 健一(JCSOS 理事長)、森 純一(JCSOS 理事)

JATA(日本旅行業協会)事務局2名出席

(2) 「大学の国際化促進フォーラム」の正会員として

「大学の国際化促進フォーラム」は、2021 年に発足。日本の大学の国際化をオールジャパンで促進する大学の主体的な活動の場として、SGU 採択校を中心に、世界展開力採択校及び希望する大学・機関等が会員となり、文部科学省等関係機関とも連携しつつ、大学の国際化に関わる取組みや研究の実施・共有・展開、情報の提供・共有を行った。JAFSA は 2021 年度に正会員として入会。適宜情報交換を行い、事業をサポート及び参加している。

(3) 「JPN-COIL 協議会」の賛助会員として

「JPN-COIL 協議会」は、2018 年に発足。「COIL を始めとした次世代の国際連携教育手法を活用した双方向交流プログラムの構築及び運営にあたり、国内外の高等教育機関と連携し、相互に教育技術の向上や質の向上のための諸事業を展開することにより、世界の架け橋となる人材育成に寄与すること」を目的としている。関西大学(JAFSA 団体理事)が事務局を担っている。

JAFSA は 2021 年度に正会員として入会。適宜情報交換を行い、事業をサポート及び参加している。

(4) 「IIGE(Institute for Innovative Global Education)」の事業活動協力

IIGE は「グローバル・キャリアマインドを培う COIE Plus プログラム」グローバル教育イノベーション推進機構(IIGE)として、関西大学が 2018 年に設置。高等教育の質の保証を図りながら、米国の大学との間で COIE 型教育を活用しつつ、日本人学生の海外留学や外国人学生の積極的受入を伴う教育連携プログラムを補助する。JAFSA は 2021 年度に IIGE と MOA を締結。

3-2. 広報に関する事業

1. 2023 年度年次報告書の作成および配布

2023 年 8 月作成済。団体正会員および団体賛助会員の JAFSA 担当者に電子(PDF)にて配信。
2022 年よりダウンロード入手・閲覧のみとしている。HP にも掲載。

2. ホームページおよびメーリングリスト運営

(1)メーリングリスト運営・管理

- 団体・個人会員配信アドレス数(部署アドレス含む):約 960 件 推定読者数:約 4,500 名
[jafsa-station](会員からの情報発信／イベント告知／人材募集)
2023 年度年間配信数:約 458 件
[jafsa-office](事務局からの配信専用)
2023 年度年間配信数:約 110 件 (研修案内・イベント告知・海外フェア案内等)
JAFSA 組織運営用メーリングリスト(理事監事用、各事業グループ用)
- 事業運営用(NAFSA 出展団体用、EAIE 出展団体用、APAIE 出展団体用等)
- 『SBP(ソーシャル・ビジネス・パートナーズ)ニュース』: 約 70 件
(賛助会員サービス:[jafsa-station]を活用して事務局より配信)

(2)JAFSA ウェブサイトの運営

2022 年度までは、JAFSA を広く知ることができる一般ページと、JAFSA 会員のみがアクセスできる(ID/PW 設定あり)会員専用ページに分類していたが、会員専用ページの PW を解除し、全ての人アクセスできるようにした。結果、会員からの問い合わせがなくなり、JAFSA ページへのアクセス数もわずかではあるが増加した。コンテンツに関しては、従来どおり一般ページでは外向きに必要情報及び簡潔な説明を、会員専用ページではイベント・研修開催案内・実施報告などのより詳細な内容を掲載。

3-3. その他

1. JAFSA 団体会員のサービス活用状況表の作成

JAFSA 団体会員を対象に JAFSA が提供する様々な機会、サービスの活用状況表を作成。活用状況を事務局内で共有。活動状況に応じて大学訪問、イベント参加を促すなど、JAFSA の活動に積極的な関わりを働きかけた。【サービス(機会)活用状況項目】

- 研修への参加(14 回実施)海外フェア出展
- 海外フェア出展(3 海外フェアへの出展・2 海外フェアへの資料参加)
- ウェビナーへの参加(9回実施)
- 対面セミナーへの参加(2 回実施)
- JAFSA メーリングリストへの投稿等(jafsa-station への投稿等)

2. JAFSA 主催研修の特典利用状況の共有

例年、会員大学には学生数に応じて提供している特典の利用状況を各会員内で把握できていないことが多かった。23 年度、「特典利用状況表」を作成し、会員大学の JAFSA 窓口担当者に共有することで、参加希望者および担当者からの問い合わせがなくなった。



特定非営利活動法人JAFSA
(国際教育交流協議会)

Japan Network for International Education

2023年度報告書

<https://www.jafsa.org>